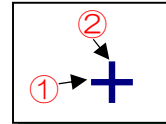


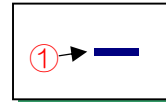
記号・線の書き方

1 計算記号 <数字の大きさより小さく>

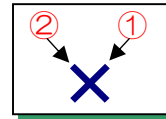
(1) 加法記号【+】・・・縦と横の長さは同じ



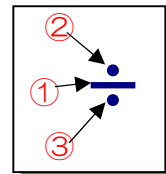
(2) 減法記号【-】・・・横の長さは、+の横の長さと同じ



(3) 乗法記号【×】・・・2本の長さは同じ。高さは+記号と同じ
(筆順が逆になると、×「バツ」となる)
記号の右側にくる数字の近くで書き終わる

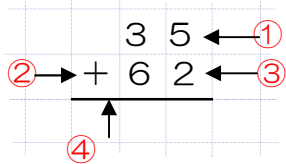


(4) 除法記号【÷】・・・横の長さは、-と長さと同じ

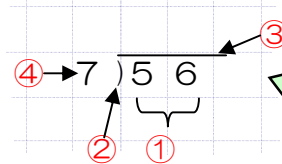


乗法「・」除法「:」の記号を使っている国も・・・

2 筆算 <唱える順に>

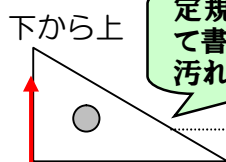
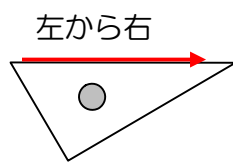


35 + 62
= と唱える
順に・・・

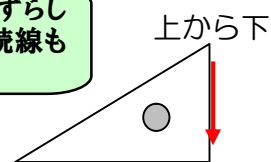


③の横棒を
最後に書く、
という順番で
説明している
本も・・・

3 三角定規で直線 <数字と同様、左から右へ>

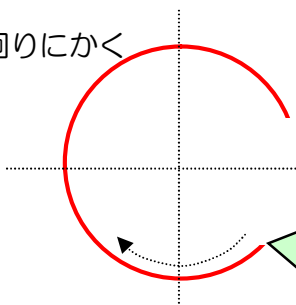


定規を右にずらして
書いた連続線も
汚れない・・・

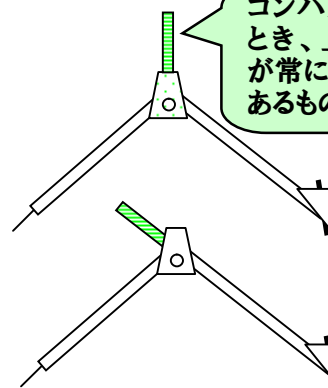


4 コンパスで円 <右回りに>

右回りにかく



時計の5時の位置から右回りにかき始め、進む方向にコンパスを少し傾けると良い。



コンパスを開いたとき、上のつまみが常にこの位置にあるものを選ぶ。